シンポジウム

Power Shifts and the Power of Ideas: Germany and Japan in the G-20 World

パワーシフトが進む世界とパワーとしての構想力　Ｇ２０時代のドイツと日本

主催（順不同）：ドイツ大使館、政策研究大学院大学（ＧＲＩＰＳ）、
ドイツ国際政治安全保障研究所（ＳＷＰ）、朝日新聞社

プログラム

日時　　２０１２年４月１８日・１９日
会場　　政策研究大学院大学（ＧＲＩＰＳ）１階　想海樓ホール

２０１２年４月１８日（水）

14:00　あいさつ
白石　隆　政策研究大学院大学学長
フォルカー・シュタンツェル　駐日ドイツ連邦共和国大使（Dr. Volker Stanzel）

14:15　冒頭発言
船橋　洋一　日本再建イニシアティブ 理事長
フォルカー・ペルテス　ドイツ国際政治安全保障研究所（ＳＷＰ）所長
（Prof. Dr. Volker Perthes）

16:00　分科会（３分科会同時並行）

第１分科会
「Ｇ２、Ｇ８、Ｇ２０、それとも今なおＰ５の世界なのか　枠組・制度の変化と多極化世界における意思決定」
“G2, G8, G20 or still a P5 world? Changing Institutional Structures and How to Make Decisions in a Multilateral World”
冒頭発言
日本側：
- 北岡 伸一　政策研究大学院大学教授

ドイツ側：
- フォルカー・ペルテス　ＳＷＰ所長

グループ討論　　司会：脇坂 紀行　朝日新聞論説委員

第２分科会
「新興国とグローバルな勢力分布　日独は中国、インド、ブラジル、インドネシア、南アフリカ等の地域大国とどう向き合うか」
“Rising Powers and the Global Landscape: How Should Japan and Germany Deal with Regional Powers such as China, India, Brazil, Indonesia, South Africa?”
冒頭発言
ドイツ側：
- ハンスーペーター・カイテル　ドイツ産業連盟（ＢＤＩ）会長
  (Prof. Dr.-Ing. Hans-Peter Keitel)

グループ討論　　司会：クラウス・フランケンベルガー
「フランクフルターアルゲマイネ」紙外報部長（Klaus Frankenberger）

第３分科会
「経済・金融危機後の国際経済　金融秩序の再構築　国内の改革と国際的な政策調整の必要性」
“Reshaping the Global Economic and Financial Order after the Crisis: Domestic Reforms and Global Coordination Needs”
冒頭発言
日本側:
- 榊原　英資 青山学院大学教授

ドイツ側:
- ダニエラ・シュヴァルツァー ＳＷＰ欧州統合研究部長（Dr. Daniela Schwarzer）

グループ討論　　司会：西崎 香　朝日新聞機動特派員

18:30　終了（予定）

２０１２年４月１９日（木）

09:00　あいさつ
- フォルカー・シュタンツェル　駐日ドイツ連邦共和国大使
- 浜田 和幸　外務大臣政務官
- 安藤 裕康　国際交流基金理事長

09:30　基調報告
– 田中 眞紀子 衆議院議員
– ロルフ・ミュッツェニヒ連邦議会議員（ＳＰＤ所属）（Dr. Rolf Mützenich）

基調報告終了後、両議員による討論
– 司会：脇坂 紀行　朝日新聞論説委員

11.00　分科会報告
– 第１分科会司会者（脇阪 紀行 朝日新聞論説委員）
– 第２分科会司会者（クラウス・フランケンベルガー「フランクフルターアルゲマイネ」紙外報部長）
– 第３分科会司会者（西崎 香 朝日新聞機動特派員）

11:45　ランチ（軽食をご用意しております）

13:00　パネルディスカッション
– 司会：田中 直毅　国際公共政策研究センター理事長
– パネリスト： 前日の各分科会冒頭発言者

14:20　休憩

14:40　質疑応答
– 司会：フォルカー・シュタンツェル　駐日ドイツ連邦共和国大使

質疑応答終了後、閉会のあいさつ
– フォルカー・シュタンツェル　駐日ドイツ連邦共和国大使

終了

18:30　レセプション　（シュタンツェル大使主催　於　大使公邸　※ご招待客のみ）